

鏡野万葉のみち青少年文芸選奨・香々美川文芸選奨

第26回鏡野万葉のみち青少年文芸選奨と第16回香々美川文芸選奨によせられた多くの作品の中から入賞者が決定しました。(敬称略)

第二十六回 鏡野万葉のみち

青少年文芸選奨入賞作品

現代詩の部

【小学生の部】

《佳作》

鶴喜小学校四年 山本 真依香

福島 of 自然と動物

テレビで見た動物たち
牛、犬、ねこ、
みんなどうしているのだろう
こんな暑い中
元気でいるのだろうか
おせんされた
水を飲み
空気をすい
草を食べ
元気でいるだろうか
お花畑できれいにさいていた
花たち
きれいにさいているだろうか
水ももらえず
がんばってさいているだろうか

【中学生の部】

鏡野中学校三年 朝田 柚香

風のはゆるれている
太陽の笑う空の下
蝉が高らかに唄うなか
りと小さな音響く
夏の暑さなど忘れさせるかのように
りと涼しい音響く
縁側の日陰で
風の鈴はゆれている
どれだけ暑い日が来ても
知らず鈴は風にゆれ
りとときれいな音響かせ
心を涼しくさせるだろう

《宇佐見賞》

【中学生の部】

鏡野中学校一年 内田 啓斗

雨滝

雨滝に行く。駐車場は暑かった。
けれども滝は別世界。
水は冷たく、マイナスイオン最高。
弟が言った。「ずっとここにいたい
な。」
小さいといこは水の中ではしゃいでる。
滝つぼは深く、泳いだら気持ちよさ
そうだ。

雨滝には、他にもいくつかの滝。
箱滝という滝には、悲しい、いつ話
滝に落ちたオノを拾おうとして
命を落とした、男の子の話。
虫と鳥の声、滝の音、まわりの音は
消えていく。
話の中にとけこめそうさだ。

「さあ、帰ろう。」皆の声。
ほんの一時の涼しさからぬけ、また
暑さの中にもどる。
もつといたかったな。
「また来るからな。」とつぶやく。

短歌の部

【小学生の部】

《入選》

香々美小学校六年 河井 沙奈
○奥津川あみで大物やマメとれ大好
物だが自然へ還す

《佳作》

上齋原小学校一年 つむら れいじ
○いもうとのあつかんべえがかわい
くてだっこしたけどちからがたり
ない

富小学校六年 和田 奏美
○七回忌障子の貼り変えそう祖母に
届くといいい私の気持ち

《宇佐見賞》

香々美小学校六年 小林 さくら
○ミンミンと知らせしてくれるセミ達
が今年も夏がやってきたよと

【中学生の部】

《入選》

鏡野中学校三年 戸田 敬介
○ドリブルの音が響いて始まった中
三最後のバスケの試合

《佳作》

上齋原中学校一年 小椋 麻央
○「起きとるか」下から聞こえる母
の声私の楽しみ簡単に消す